

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	11月												12月					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~5日	11月 ~12日
カンピロバクター	99	99	47	48	99	77	32	30	46	63	57	67	75	49	29	47	8	16
病原性大腸菌	90	30	53	40	44	45	81	37	55	103	120	108	102	56	52	49	15	17
腸管出血性大腸菌	1	10	2	0	2	0	0	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0
サルモネラ	3	16	12	12	14	5	3	2	2	7	7	13	25	6	12	15	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	22	26	19	13	20	18	11	10	13	14	21	8	12	15	18	21	2	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	17	18	15	16	20	14	10	14	15	14	10	11	11	9	5	3 (1)	1
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	3	4	1	5	4	1	2	1	2	0	0	4	8	2	1	0	0	1*
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	5	7	3	2	2	6	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	0	0	0	1	2	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*その他は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第45週(11月6日~11月12日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8		1		1	5		1
三類	0	発生なし	0							
四類	7	E型肝炎	1					1		
		つつが虫病	4	1				3		
		レジオネラ症	2						2	
五類	14	ウイルス性肝炎	1		1					
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1		1					
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2					2		
		梅毒	8	1				3	3	1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり16.08人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、多い状況です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も継続して報告されています。

2 咽頭結膜熱

定点当たり2.52人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。この報告数は、1999年の感染症法施行以降で最多となります。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

3 つつが虫病

3件の報告があり、今年の累計は4件となりました。例年、11～12月の報告が多くなっており、注意が必要です。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボンなどを着用し、ダニ類の付着を防ぎましょう。また、帰宅後はすぐに入浴して身体をよく洗い、衣服も洗濯しましょう。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.14人の報告があり、減少が続いています。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	579	16.08	0.45	◇	小児科	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.31	
	新型コロナ(COVID-19)	41	1.14	◇			流行性耳下腺炎	1	0.04	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.24		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	咽頭結膜熱	58	2.52	0.23	◇		流行性角結膜炎	7	0.88	0.60	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	111	4.83	1.41	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	106	4.61	3.75	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	-	-	0.24			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.12	
	手足口病	29	1.26	0.56	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.06			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	3	0.13	0.37							

急増減 ↑ (赤) 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↘ (白) 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	110	70歳代・1人、80歳代・3人、90歳代・1人
4	E型肝炎	1	2	50歳代
4	つつが虫病	3	4	60歳代・市外、70歳代、80歳代
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	3	60歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	10	20歳代・感染者・推定感染地域: 国外
5	梅毒	3	248	20歳代、30歳代、40歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	9	70歳代、80歳代